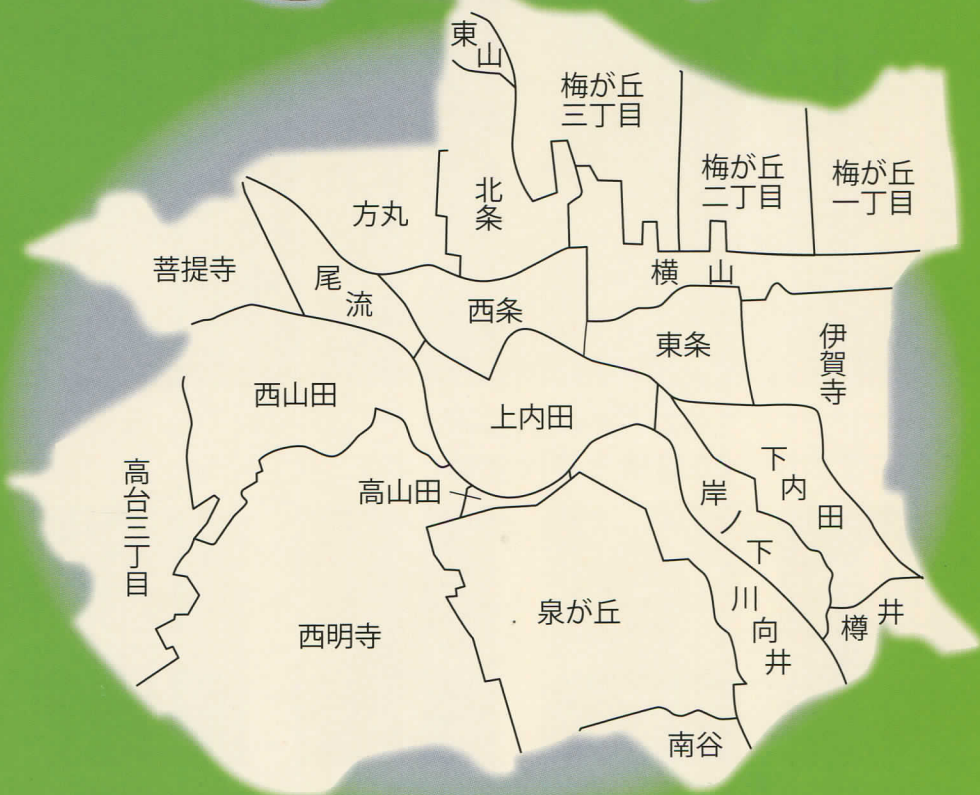


下海印寺まちづくり協議会

－ 18年の歩みと未来へ向かって－



はじめに

平成元年の京都第二外環状線の都市計画決定から、下海印寺には地域を二分する論議が巻き起こりました。そんな中、将来の地域づくりを自ら考えようと、初代中小路定則会長を中心にした協議会設立に向けたご尽力が実り、平成11年に「下海印寺まちづくり協議会」は発足しました。長岡京市まちづくり条例の認定第1号でした。

平成14年には、京都第二外環状道路の整備進捗や地域の環境整備に対応するため、協議会活動の柱となる「下海印寺まちづくり構想」をとりまとめました。

活動を進める上で3つの専門部会を設置し、地域ぐるみの取組みを通じた人づくり、新しい下海印寺地区のまちの基礎づくりを目的として進めてきました。

また、京都第二外環状道路に関連した活動だけでなく、「チョボラ30」を含めた小泉川の環境整備活動は高い評価をいただき、平成21年国土交通大臣表彰を受賞したことなどは、地域にとっても大変な誇りであり財産であります。

平成25年の京都第二外環状道路の開通とその後の周辺整備により、地区の風景は大きく様変わりしつつも、歴代の会長ならびに会員の皆さんの積極的な取組みにより、まちづくり構想の目的の大部分は達成をみました。

協議会の発足から18年を経て、これからの下海印寺地区のまちづくりのため、この間の総括と将来に向けた方向性をここに記します。そして長岡京市のまちづくり協議会の良き先例として、さらに活動を続けてまいりたいと考えております。

本協議会のため、これまで暖かいご支援を賜りました関係各位に感謝とお礼を申しあげるとともに、今後ともよろしく願い申し上げる次第です。

下海印寺まちづくり協議会会長 山本 啓司

下海印寺まちづくり協議会歴代会長



中小路 定則
平成11年9月
～平成14年8月



立林 義治
平成14年9月
～平成21年3月



山本 隆
平成21年4月
～平成23年3月



山本 英男
平成23年4月
～平成25年3月



武内 英彦
平成25年4月
～平成28年3月

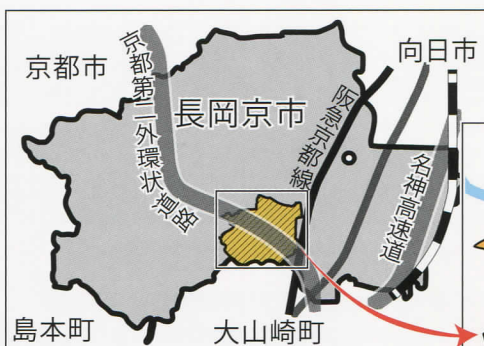


山本 啓司
平成28年4月
～現在

概要

下海印寺の属する長岡京市は、京都盆地の南西部に位置し、北は向日市・京都市、東は京都市、南は大山崎町、西は西山を境に大阪府と接しています。東西約6.5km、南北約4.3kmと東西に長い長方形をなしており、総面積19.17km²の市域に約8万人の市民が暮らしています。市の西部には、市の総面積の約40%を占め本市の代表的な景観となっている西山が横たわります。

下海印寺地区は、この西山に発して淀川に注ぐ小泉川の流域に位置します。



歴史



小泉川沿岸の下海印寺遺跡からは1万数千年も遡る縄文期の石器や古墳時代の遺構が発見されるなど、当地域では極めて古くから継続して人々の生活が営まれていたことが伺えます。村名は9世紀の中ごろ、華厳宗の僧道雄が建てた道場の名前に由来。江戸期には旧伏見宮の領地として、およそ200人の人々が下海印寺村を形成していました。明治に入って22年に、下海印寺村は奥海印寺村・金ケ原村・浄土谷村と合併し、海印寺村となりました。明治から昭和にかけて村内の道路・水路・橋などが整備、改修されましたが、戦後は昭和40年頃から下海印寺の景観は大きく変貌します。まず、小泉川の改修工事により川床が下げられ川筋も直線的に整備されました。さらに小泉川南の丘陵地に泉が丘住宅が造成されるなど、地区周辺の住宅開発が進みました。

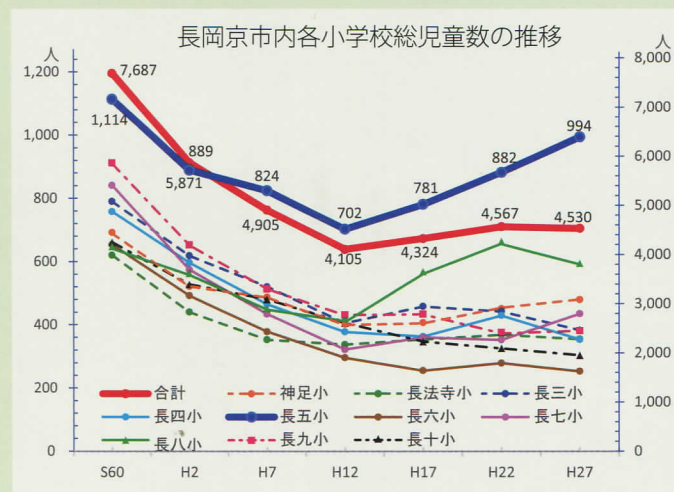
交通

長岡京市は中央部を阪急京都本線、東部をJR東海道本線が走り、京都の中心部へは10分～15分、大阪へは約30分で行くことができ、阪急長岡天神駅(乗降客約3.3万人/日)やJR長岡京駅(乗降客約4万人/日)は多くの方が利用しています。また、市の東部には名神高速道路や国道171号など、道路交通の大動脈が縦走しています。さらに平成25年には阪急西山天王山駅の開業、京都第二外環状道路(にそと)の開通及び長岡京インターチェンジ、西山天王山駅と連結した高速バス停が供用されるなど、下海印寺地区における交通利便性は一段と向上しました。

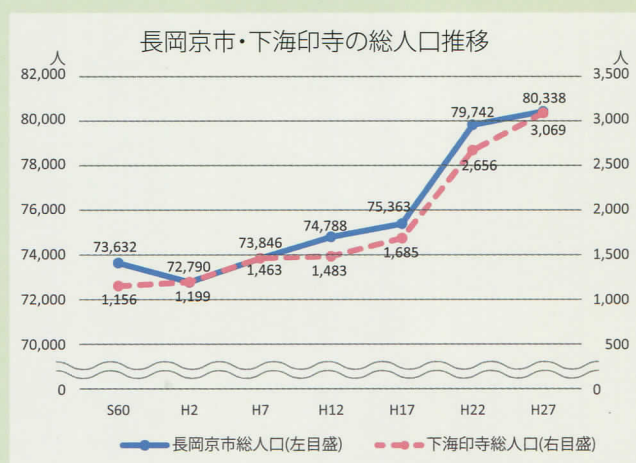


人口

長岡京市の人口は平成2年頃より増加傾向にあり、平成27年現在は8万人を超えています(グラフ右→)。市の傾向と同様に、下海印寺地区の人口も増加傾向にあり平成27年現在3千人を超えています。



※合計のみ右目盛、他は左軸目盛



事の起こりは昭和63年

昭和63年
と
平成9年

昭和63年 9月 第二外環状ルートの建設省原案の提示

昭和63年11月 第1回地元説明会

平成8年10月 まちづくり条例、まちづくり条例施行規制、
まちづくり協議会認定要綱の施行

平成11年 9月 まちづくり協議会発足

平成11年10月 まちづくり協議会設立認定

平成12年 3月 第1号「まちづくり協議会ニュース」発行

平成12年 新川向井橋東で花づくり活動開始

平成14年 9月 まちづくり構想作成、市長へ提出

平成14年 上内田に集団移転希望を決定

平成14年 公民館で火災、改めてまちづくりにおける
防災面強化の重要性を認識

平成15年 1月 チョボラ30(チョットボランティア30分、
小泉川の清掃)の活動開始

平成15年10月 四条畷市栗尾地区緑住土地区画
整理事業視察

平成15年11月 「お寺移転についてのアンケート」実施

平成16年5月 土地区画整理事業の準備会を発足



まちづくり協議会設立総会



下海印寺まちづくり協議会ニュース 第1号



チョボラ30(チョットボランティア30分)



緑住土地区画整理事業の視察(四条畷)

平成10年
と
平成16年

協議により
まちづくりを継承

凡 例

「暮らしの施設部会」関連

「緑とふるさと部会」関連

「環境みちづくり部会」関連

協議会全体、その他

平成17年
～
平成24年

土地区画整理が
まちづくりの
転機に

平成17年10月 「山城うるおい水辺パートナーシップ事業」認定

平成17年12月 下海印寺土地区画整理組合発足

平成18年 3月 6年続いた花づくり活動を文化財調査のため一旦中止

平成19年 旧河川の浄化が進み、環境にやさしい親水空間(ビオトープ)が完成

平成20年 3月 西川橋公園に区画整理事業の記念モニュメント「記憶のいずみ」完成

平成20年10月 下海印寺景観フォトコンテスト開催

平成21年 生活道路等の危険箇所リストアップと現地確認を実施

平成22年 6月 西山田開発区域の水路上流、高台、金ヶ原、大山崎地区の雨水等環境影響調査実施

平成22年 6月 阿弥陀寺が移転先に完成

平成24年 3月 高架下公園の遊具施設について視察研修



「山城うるおい水辺パートナーシップ」事業認定式



区画整理記念モニュメント「記憶のいずみ」



阿弥陀寺

「にそと」開通により新たなまちづくりへ

平成25年 活動部会は3部会から「明るいまちづくり部会」「緑とふるさと部会」の2部会に集約

平成27年 3月 下海印寺会館完成
下海印寺西条公園完成

平成27年 4月 チョボラパートⅡの開始



花づくり活動



下海印寺会館



下海印寺西条公園(遊戯広場)



集団移転地区(上内田)

凡 例

「明るいまちづくり部会」関連

「緑とふるさと部会」関連

協議会全体、その他



下海印寺まちづくり協議会18年の歩み

西暦 和暦	1988 S 63	1989 H 元	1991 H 3	1997 H 9	1998 H 10	1999 H 11	2000 H 12	2001 H 13	2002 H 14	2003 H 15	2004 H 16	2005 H 17	2006 H 18	2007 H 19	2008 H 20	2009 H 21	2010 H 22	2011 H 23	2012 H 24	2013 H 25	2014 H 26	2015 H 27	2016 H 28
下海印寺まちづくり協議会					第一回協議会発足説明会(8月)・第二回協議会発足説明会(10月)	下海印寺まちづくり協議会が発足(9月)・まちづくり協議会として長岡京市認定第一号(10月)	まちづくりニュースを発行(3月)・第一回まちづくり協議会総会(4月)	ワークシヨップの活動報告・国土交通省と意見交換(11月)	まちづくり構想の策定・三部会(暮らしの施設・環境みちづくり・緑とふるさと)での活動開始(9月)	チヨボラ30(チヨットボランティア30)活動を開始(1月)	京都府から京都水づくり賞を受賞(3月)	京都府山城うるおい水辺パートナーシップの事業認定交付(10月)・下海印寺土地区画整理組合発足(12月)	(社)日本河川協会より河川功労者の表彰(5月)・景観先進地視察研修(近江八幡市・彦根市)(10月)	景観への取組み視察研修(伊丹市郷町)(11月)	下海印寺の景観写真を募集・景観先進地視察研修(甲南トンネル・伊賀上野市)(10月)	全国みどりの愛護・功労者国土交通大臣表彰(4月)・IC周辺のまちづくり視察(刈谷市)(10月)	危機管理視察研修(宮津市大手川)(1月)	神戸市防災未来センター・名谷高架下視察(10月)	遊具施設に関する視察研修(3月)	部会を二部会に集約(明るいまちづくり・緑とふるさと)	武庫之荘まちづくり協議会と淀川資料館視察研修(11月)	チヨボラパートⅡの活動を開始(4月)	『下海印寺まちづくり協議会18年の歩み』制作
京都第二外環状道路(にそと)		「大枝IC(仮称)く久御山IC」都市計画の決定	用地買収の着手	大山崎JCT・ICく久御山IC間の工事着手	京都第二外環状道路の起工式			「沓掛IC」大山崎JCT・ICの一般有料道路事業認可		「大山崎IC」完成・大山崎JCTく久御山JCT間6.3km開通										にそと開通・大山崎JCTく沓掛IC区間・阪急西山天王山駅開業			
国内及び国外の主な出来事	リクルート疑惑発覚	昭和天皇崩御	湾岸戦争勃発	神戸児童連続殺傷事件	長野冬季オリンピック開催			米国同時多発テロ発生			鳥インフルエンザ騒動	JR福知山脱線事故			リーマン・ブラザーズ破綻	参院選で民主党が大勝・政権交代		東日本大震災		富士山 世界文化遺産に登録	安全保障関連法可決	御嶽山噴火	

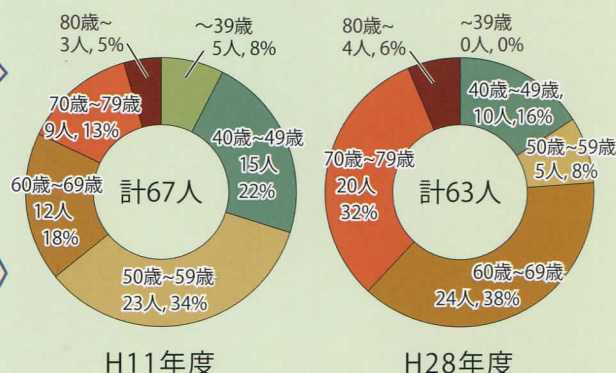
京都第二外環状道路（にそと）完成後の下海印寺まちづくり協議会の課題

課題

郷土・地域愛の希薄化
まちへの関わり方が変化中、まちづくりが持続できるのだろうか。

後継者（人材）不足
人口は増加、子育て世代も増えているのに、まちづくり協議会、氏子青年会や子供会、自治会、婦人会等の会員数は伸び悩み、協議会や青年会は高齢率が高くなっている。

【まちづくり協議会年代別構成比】



新たな活動方針

今までのまちづくり協議会の活動も継続しつつ、未来のまちづくりの担い手となる若い世代に参加を促す興味や関心ある仕組みを検討する。

各公園（調子馬の池一下海印寺西条一奥海印寺西代）を拠点として、小泉川をネットワークとした人・情報・環境の交流を促進し郷土・地域愛を醸成する。

活動の重点事項と体制づくり

情報の公開

ホームページを立ち上げ、地域の内外を問わず誰でもアクセスできるシステムを作る。

他地域のまちづくり協議会との交流

他地域のまちづくり協議会と交流、視察、意見交換を行って、より魅力あるまちづくりを推進する。

部会活動

緑とふるさと部会

明るいまちづくり部会

青年部

イベントを企画し、新住民と交流を図る。
『小泉川交流ネットワーク』を推進する。
開発に伴う協議はより客観性を持たせる。
新たに青年部を立ち上げ、まちづくりの推進力となるリーダーを育てる。

大学、研究所、行政、専門機関との交流

社会の変化に対応するため、各専門機関と交流し、人脈を築く。

活動記録

活動を記録、共有し、後世に伝える。



小泉川の堤防道



長岡第四中学校



下海印寺西条公園



下海印寺会館



チョボラ30活動

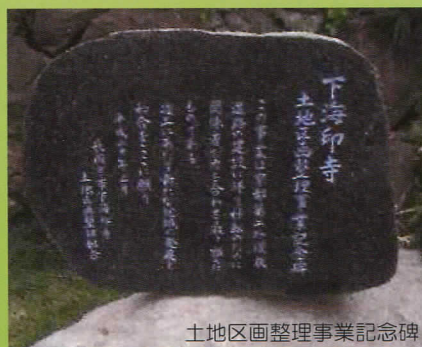


旧小泉川

次の世代の子供たちに繋ぐまちづくりを



西条地区の街並み



土地区画整理事業記念碑



チョボラ30活動



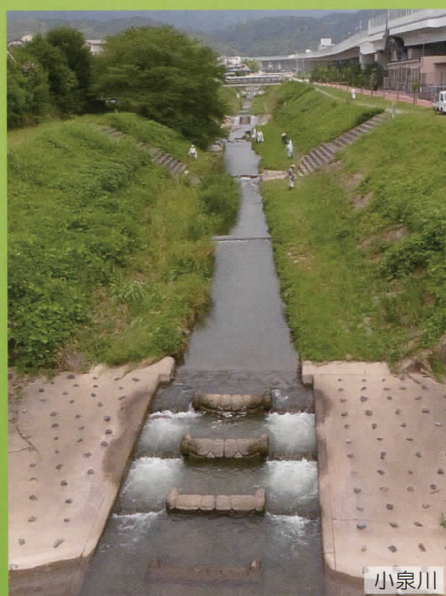
阿弥陀寺



春の風物詩「鯉のぼり」



下海印寺春祭り



小泉川



旧小泉川とビオトープ

発行元 下海印寺まちづくり協議会
長岡京市下海印寺西山田60番地

発行 平成29年3月